

# 営 農 情 報



農業に必要なノウハウを学ぶ就農希望者（⑥奥）

## 新規就農ワンストップ相談窓口を開設

### 一関地方農林業振興協議会

一関地方農林業振興協議会は、新規就農者の支援強化を図るワンストップ相談窓口を開きました。今年度初回となる5月10日は、管内で就農を考える男性2人がJA西部営農振興センターで相談を行いました。相談員を務めたJA営農振興課の藤野秀一課長は「農業を始めるに当たり、さまざまな不安があると思う。就農希望者が前に踏みだせるように関係機関が一体となり準備から経営開始、経営計画達成まで継続的にバックアップしていく」と話しました。

相談窓口は、毎月第2水曜日に奇数月はJA西部営農振興センター、偶数月はJA東部営農振興センターで午後1時30分から開催予定。希望者は開催日の3日前までにJA、一関農業改良普及センター、一関市農政課、平泉町農林振興課のいずれかに連絡し申し込みが必要です。

## 地産地消の強化に向ける

### いわて南牛振興協会総会、懇談会

一関市、平泉町、JA、JA肥育牛部会で組織するいわて南牛振興協会は5月22日、総会と懇談会を開きました。2017年度も地産地消を拡大するためのPR事業を展開するほか、首都圏の枝肉購買者との懇談会を行うなど知名度の向上と農家の生産意欲を高め産地の強化を図ることを確認しました。懇談会の中で課題とされている県内供給体制の確保策としてJA肥育牛部会の佐々木賢治部会長が「試験的に月2頭を目安として県畜産流通センターに出荷し地元店のいわて南牛肉確保に協力したい」と話しました。



知名度向上に意欲を示す  
会長の勝部修一関市長

## 「安全・安心・高品質」の 生産、出荷に努めます

### なす生産部会販売推進会議

JAなす生産部会は5月23日、販売推進会議を開き部会代表者と出荷市場7社が出席しました。産地の状況や出荷計画を確認し今年度は出荷数量計画18万9千箱、販売平均単価を1433円/箱を希望すると伝えました。市場側から高品質で好評だが安定供給をしてほしいと要望がありました。千葉昭義部会長は「消費者ニーズに合わせた出荷形態の対応も検討する」と意欲を示しました。

良質生産を誓い高単価販売  
を要望



## 効果的な電気柵の設置方法と 注意点

近年、野生動物による農作物等への被害が増えています。  
今回は電気柵の基本的な設置方法と注意点をお知らせします。

### ◎通電の良い場所に設置する

地面の乾いた場所や通電性のない地面（コンクリート、アスファルトなど）の場合、動物に電流は流れません。そのような場合は、柵を少し田畑の内側に設置するか、トタン板を敷くなど通電させる工夫が必要です。

### ◎傾斜地から離して設置する

電気柵を飛び越える場合があるので傾斜地から2m程度離して設置しましょう。

### ◎漏電防止の草刈りをする

草が電線に触れていると電圧が低くなります。バッテリーや電池も早く消耗します。

### ◎柵のそばの藪をなくす

藪は動物の隠れ家になります。柵の外際3m程度の刈り払いを行いましょう。

### ◎周囲を隙間なく囲う

動物は隙間を探し侵入しようとします。田畑の周囲をすべて囲うように設置しましょう。

### ◎動物の鼻先の高さに電線を張る

動物の体には固い毛があるため、鼻先や肉球などにしか電流は流れません。電線は動物の鼻先の高さに1本張り、潜り抜けないようにさらに下に張る必要があります。

### ◎地面のくぼみは電線でふさぐ

地面のくぼみは電線を追加するなど隙間を必ずふさぎましょう。

### ◎電圧テストをする

電圧テスターを用い、複数の場所で電圧のテストをします。少なくとも4,000V程度の電圧が必要です。

### ◎定期的に点検し、補修、維持管理を行う

定期的に電圧チェックを行いましょう。落枝等で破損していないかも確認します。地形によっては、電流が流れていても地際から侵入している可能性があります。定期的に点検し安全な使用を心掛けてください。

電気柵についての問い合わせは、  
JA各営農経済センターまで



生産資料ひろば